

第99期 中間事業報告書

2025年1月1日～2025年6月30日

FUKUDA
REPORT



株式会社 **福田組**

証券コード：1899

WEBサイトのご案内

様々なコンテンツを掲載している
当社WEBサイトをご利用ください



スマートフォンからも
ご確認いただけます

地域に根差し、地域を超えて
マルチ・ステークホルダーとの
強い絆を築いてまいります。



代表取締役会長
福田 勝之



代表取締役社長
荒明 正紀

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて当社は2025年6月30日をもって、第99期中間期（2025年1月1日～2025年6月30日）を終了しましたので、ここに当中間期の概況をご報告申し上げます。

当中間期連結累計期間の連結業績は後記のとおりであります。

当社は、現行の中期経営計画および長期ビジョンの最終年度を迎えております。計画の中でお示ししている基本方針は、外部環境の変化に左右されることなく、当社が「持続的かつ安定的な成長」を遂げていくために欠かせないものであります。

本計画を一歩でも前に進めるため、積み残した課題の一つひとつ確実に実行し、今後とも株主の皆さまのご期待に沿えるよう邁進する所存でございます。

株主の皆さまをはじめ全てのステークホルダーの満足を第一とし、グループ一丸となり取り組んでまいりますので、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2025年9月

当第2四半期（中間期）累計期間の連結事業概況

当中間期連結累計期間の連結業績は次のとおりであります。

売上高は、手持ち工事が工程の遅延等も無く順調に進捗していることや、当期の連結受注高が順調に推移していることなどから、

前年同期と比べて2.4%増の775億円余となりました。

利益面では、建設事業における利益率が前期と比較し増加していることから、売上総利益は前年同期と比べて1.9%増の85億円余となりました。営業利益においては、賃上げに伴う人件費の増

財務ハイライト



加などにより、販売費および一般管理費は増加したものの、それを上回る売上総利益の増加により、前年同期と比べて1.9%増の35億円余となりました。経常利益においては、受取配当金の増加などにより、前年同期と比べて2.5%増の38億円余となりました。親会社株主に帰属する中間純利益においては、税金等調整前中間純利益の増加に伴い、法人税等の税金費用は増加したものの、子会社における関係会社の清算に伴い、関係会社清算益、並びに関係会社整理損失引当金戻入額の計上により、前年同期と比べて3.9%増の25億円余となりました。

通期の見通し

我が国経済は、当面の間、物価上昇が継続するものの、政府による各種政策の効果を受け、今後は物価上昇率が徐々に鈍化していくものと予想されます。加えて、秋頃に予定されている最低賃金の引き上げにより、実質賃金が緩やかに上昇し、個人消費の支えとなることで、景気は徐々に回復基調をたどるものと見込まれます。

一方で、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や中東情勢の不安定化が続く中、エネルギー価格の先行きには依然として不透明感が残っており、物価高再燃の恐れがあります。また、2024年11月に実施された米国大統領選の結果を受けた新政権の経済政策も、日本経済に一定の影響を与えることが想定され、その動向を注視していく必要があります。

このような経済状況を背景に、建設業界におきましては、2025

年度の公共事業費は前年度と同水準が確保され、激甚化・頻発化する自然災害への対応や老朽化する社会インフラの更新など、防災・減災・国土強靱化に向けた取り組みが継続されており、堅調な動きが見込まれます。

また、民間設備投資についても、半導体や再生可能エネルギー分野などを中心とした政府の産業支援策に加え、好調な企業業績に支えられて、引き続き投資拡大の動きが期待されます。

これら経済環境の変化に対応すべく、当社グループでは労働力の多様化やデジタル化などを積極的に推進し、生産性および品質の向上に日々努めております。さらには、働きやすい職場環境の構築や、積極的な人材育成を通し、魅力のあるグループを追求するとともに、社員が安心して働き続けられる環境づくりを行っております。引き続き不確実性の高い経済情勢ではございますが、財務基盤の強化や収益力の向上を基礎として、これらの取り組みを確実に実行していくことで、持続的な成長に邁進していく所存であります。

以上を踏まえ、今後の情勢に引き続き注視が必要ではありますが、現時点におきましては通期業績見通しの変更は必要ないものと判断し、通期（2025年12月期）の連結業績は、当初計画のとおり、受注高1,708億円、売上高1,670億円、営業利益60億円、経常利益63億円、親会社株主に帰属する当期純利益43億円を見込んでおります。

今後の受注状況等により業績の変動が見込まれることとなった場合、遅滞なく業績予想の修正を行う予定としております。

親会社株主に帰属する
中間(当期)純利益



受注高(単体)





情報処理機器の再活用を通じた社会貢献活動と 持続可能な社会への取り組み

当社は、パソコンやタブレット等の情報処理機器の販売・レンタル・運用サポートを軸に、IT分野におけるハードウェアおよびインフラ環境の整備・構築を展開しています。

情報処理機器は日々進化しており、より新しく高性能な機器を求めるニーズは、常にビジネスの現場で生じています。当社では、こうしたニーズにお応えすべく、最適な機器の選定・調達・提供に努めております。

一方で、役割を終えた機器の入れ替えに伴う廃棄の件数も年々増加しております。当社では、「まだ十分に使用可能な機器」については再整備を施した上で、国内外の社会福祉施設等へ寄贈するなど、機器の有効活用を推進しております。

2024年度にはスリランカ・サバラガムワ大学へ、2025年度には同国バスティアン・シルバ・マハ・ヴィディヤラヤ小学校、並びに新潟市内の子ども食堂、音声訳ボランティア団体等への寄贈を行いました。

今後も当社は、情報処理機器の再活用を推進し、微力ながらデジタル格差の解消および廃棄物の削減を進め、持続可能な社会環境構築の一端を担えるよう取り組んでまいります。

再活用事例：



▲Sabaragamuwa University of Sri Lanka
「スリランカ・サバラガムワ大学」での活用



◀「地球の子供食堂と宿題Caféふるまち本店」

子ども食堂を訪れる子どもたちがタイピングの練習や動画の視聴などに活用



◀音声訳「さやの会」

視覚に障がいのある方へ配布するために、各種情報を朗読した音声記録をCDに収録する作業に活用

建設現場のセンシング技術を支える 通信データロガー

●建設IoTを支える通信・計測装置

当社は、建設現場や防災監視で使用されるセンサおよび通信機器の製造・販売に加え、それらの設置工事や情報提供サービスを行っています。

電気や空調が整った室内や車内では、LANやWi-Fiを利用することで容易に通信環境を構築できます。一方で、電源がなく、風雨にさらされるような屋外環境でのデータ収集は、非常に困難となります。

そこで当社は、これまで培ってきた省電力に関するノウハウとセンサ技術を融合させ、現場向けの通信・データ収集端末「SMART-LINK：スマートリンク」を開発しました。この端末は小型ソーラーパネルによって動作し、現地の各種データをクラウド上の監視サーバへ送信することが可能です。



小型ソーラー電源により通信



SMART-LINK (スマートリンク)

●フィールド情報を集めるセンサ

構造物の微小変化や、緩慢な地盤変動を捉えるには、高感度センサが必要です。当社では通信装置に合わせて、建設現場向きセンサも開発しています。例えば「小型高精度傾斜センサ」は、土木構造物や地盤の傾きを100分の1度以上の精度で捉えます。

また、GPS技術の活用を重要なテーマの一つとして掲げています。現在、「車載用のcm級GPS」がすでに実用化されていますが、当社では、スマートリンクを活用した省電力かつ高精度な「ソーラー駆動のmm級GPS」の開発に取り組んでいます。

これらの技術を通じて、インフラの維持管理や防災監視の現場において、安全で持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



小型高精度傾斜センサ



GNSSアンテナの性能試験

連結財務諸表

●連結貸借対照表 (単位：百万円/百万円未満切捨)

| 科目 | 当中間期連結会計期間末 (2025.6.30現在) | 前連結会計年度末 (2024.12.31現在) |
|--------------|------------------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 104,770 | 105,433 |
| 固定資産 | 37,609 | 37,380 |
| 資産合計 | 142,379 | 142,814 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 49,401 | 50,004 |
| 固定負債 | 7,102 | 7,402 |
| 負債合計 | 56,503 | 57,406 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | 83,674 | 82,898 |
| その他の包括利益累計額 | 1,857 | 1,762 |
| その他有価証券評価差額金 | 1,954 | 1,855 |
| 土地再評価差額金 | 18 | 41 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △115 | △134 |
| 非支配株主持分 | 343 | 746 |
| 純資産合計 | 85,875 | 85,407 |
| 負債・純資産合計 | 142,379 | 142,814 |

▶ワンポイント

【連結貸借対照表】

資産については、工事代金を順調に回収できたことに伴う完成工事未収入金の減少により、前連結会計年度末に比べて総資産が4億円余減少し1,423億円余となりました。

負債については、JV工事の進捗に伴う分配金の支払いにより預り金が減少したことや、前期と比較し当期は大型工事案件の完成が少なかったことから未払消費税等が減少し、前連結会計年度末に比べて9億円余減少の565億円余となりました。

純資産については、前期分の配当金の支払いがあったものの、親会社株主に帰属する中間純利益を計上したことに伴い利益剰余金が増加し、前連結会計年度末に比べて4億円余増加の858億円余となりました。

●連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円/百万円未満切捨)

| 科目 | 当中間期連結会計期間 (2025.1.1~6.30) | 前中間期連結会計期間 (2024.1.1~6.30) |
|-------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 7,008 | 29,525 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △549 | △673 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △2,853 | △1,364 |
| 現金および現金同等物の増減額 | 3,605 | 27,487 |
| 現金および現金同等物の期首残高 | 31,946 | 29,418 |
| 現金および現金同等物の中間期末残高 | 35,551 | 56,905 |

●連結損益計算書 (単位：百万円/百万円未満切捨)

| 科目 | 当中間期連結会計期間 (2025.1.1~6.30) | 前中間期連結会計期間 (2024.1.1~6.30) |
|------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 売上高 | 77,503 | 75,718 |
| 売上原価 | 68,952 | 67,322 |
| 売上総利益 | 8,551 | 8,396 |
| 販売費および一般管理費 | 4,955 | 4,866 |
| 営業利益 | 3,596 | 3,530 |
| 営業外収益 | 244 | 219 |
| 営業外費用 | 38 | 41 |
| 経常利益 | 3,802 | 3,708 |
| 特別利益 | 100 | 68 |
| 特別損失 | 46 | 59 |
| 税金等調整前中間純利益 | 3,856 | 3,717 |
| 法人税、住民税および事業税 | 1,323 | 1,356 |
| 法人税等調整額 | △65 | △155 |
| 中間純利益 | 2,598 | 2,517 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 42 | 56 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 2,555 | 2,460 |

【連結キャッシュ・フロー計算書】

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少や未成工事受入金の増加による収入面が大きかったことにより、70億円余の収入超過となりました。(前年同期は、295億円余の収入超過)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が大きかったことにより、5億円余の支出超過となりました。(前年同期は、6億円余の支出超過)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済や配当金の支払いが大きかったことにより、28億円余の支出超過となりました。(前年同期は、13億円余の支出超過)

■ 会社の概況 (2025年6月30日現在)

創 業 1902年1月
 設 立 1927年12月
 資 本 金 5,158,408,496円
 従 業 員 数 858名
 連 結 子 会 社 16社 (福田道路(株)他)
 主要な事業所 ●本社
 新潟市中央区一番堀通町3番地10
 電話 025-266-9111 (大代表)

●本店・支店

新潟本店(新潟市中央区)
 東京本店(東京都千代田区)
 東北支店(仙台市青葉区)
 名古屋支店(名古屋市中区)
 大阪支店(大阪市北区)
 九州支店(福岡市博多区)
 中越支店(新潟県長岡市)
 北海道支店(札幌市中央区)

●営業所

盛岡、千葉、横浜、村上、上越、広島ほか
 5営業所

主要な子会社 福田道路(株)
 (株)興和
 フクダハウジング(株)
 (株)レックス
 福田アセット&サービス(株)
 (株)新潟造園土木
 福田リニューアル(株)
 北日本建材リース(株)
 (株)リアス

■ 役員 (2025年6月30日現在)

| | | | |
|-----------------|--------|----------------|-------|
| 代表取締役 執行役員会長 | 福田 勝之 | 取締役 常勤監査等委員 | 岩崎 勝彦 |
| 代表取締役 執行役員社長 | 荒明 正紀 | 取締役 監査等委員 | 中田 義直 |
| 取締役 専務執行役員 | 齋藤 秀明 | 取締役 監査等委員 | 若槻 良宏 |
| 取締役 常務執行役員 | 山賀 豊 | 執行役員副社長 | 藤山 秀章 |
| 取締役 常務執行役員 | 大塚 進一 | 上席執行役員 | 追木 博幸 |
| 取締役 執行役員 | 砂田 修一 | 上席執行役員 | 須田 敏明 |
| 取締役 執行役員 | 小見 年雄 | 執行役員 | 今野 和則 |
| 取締役 執行役員 | 永塚 重松 | 執行役員 | 福田 雄介 |
| 取締役 | 上原 小百合 | 執行役員 | 渡邊 哲 |
| | | 執行役員 | 三上 善嗣 |
| | | 執行役員 | 矢澤 重正 |
| | | 執行役員 | 古屋 真 |
| | | 執行役員 | 小島 久佳 |

注1. 永塚重松、上原小百合の両氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。
 注2. 中田義直、若槻良宏の両氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役(監査等委員)です。

■ 株式の状況 (2025年6月30日現在)

発行可能株式総数 20,000,000株
 発行済株式の総数(自己株式を除く) 8,372,140株
 株主数 6,879名
 大株主

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|-------------------|---------|---------|
| 日本マスタートラスト信託銀行(株) | 956 | 11.4 |
| (公財)福田育英会 | 688 | 8.2 |
| 福田 直美 | 431 | 5.2 |
| (株)第四北越銀行 | 375 | 4.5 |
| 小沢 和子 | 321 | 3.8 |
| 福田組共栄会 | 293 | 3.5 |

(注) 持株比率は自己株式(615,971株)を控除して計算しております。なお、当該自己株式数は、「株式給付信託(J-ESOP)」および「役員株式給付信託(BBT)」制度の信託財産として、(株)日本カストディ銀行(信託EPC)が保有する当社株式(92,300株)は含まれておりません。

株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで

定時株主総会 3月

基準日 定時株主総会 12月31日
期末配当金 12月31日
中間配当金 6月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

【連絡先】

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

【送付先】

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

単元株式数 100株

上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場

公告の方法 電子公告の方法により行います。

ただし、やむを得ない事由により電子公告による
ことができない場合は、日本経済新聞に掲載いた
します。

公告掲載URL <https://www.fkd.co.jp/>

【ご注意】

●株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、口
座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管
理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

なお、未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本支店で
お支払いたします。

●特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三
菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座
の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。

なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

株主優待制度

当社では、日頃の株主様の御支援に感謝申し上げるとともに、
弊社株式を末永く保有していただくことを目的に、株主
優待制度を導入しております。

| 保有株式数 | 優待贈呈内容 | 贈呈実施基準 |
|--------|---------------|--|
| 200株以上 | 金券 2,000円分 | 毎年12月31日現在の株主 名簿に記載または記録さ れた内容に応じ贈呈 |
| 200株以上 | 金券 5,000円分 | 1年以上継続保有(株主名 簿に3回以上記載または記 録)された内容に応じ贈呈 |

贈呈時期 毎年3月下旬発送予定

●株主手続に関するFAQ

1 特別口座では株式の売買を行うことができないので、
特別口座にある株式を証券会社の口座に振替えたいのですが…

あらかじめ、証券会社に口座を開設した後で、当社の特別口座の口座
管理機関である三菱UFJ信託銀行までお申し出ください。単元未満株
式についても振替が可能です。振替にかかる手数料はございません。

2 単元未満株式を処分したいのですが…

当社では、単元未満株式の買取・買増請求制度を採用しておりますの
で、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行までお申し出
ください。

※すでに、単元未満株式を特別口座から証券会社の口座に振替えられた場合は、振替先の
証券会社にお申し出ください。

3 各種手続の申し出先を知りたいのですが…

①証券会社の口座にある株式
▶お取引先の証券会社

〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-232-711
<https://www.tr.mufg.jp/dai kou/>

②特別口座にある株式
▶三菱UFJ信託銀行
(※右記までお問い合わせください)



FUKUDA

本社 / 新潟市中央区一番堀通町3番地10
電話 025-266-9111 (大代表)